

県市町村歴史公文書等保存活用共同会議の開催結果について

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用について、県と市町村が連携して推進するための「県市町村歴史公文書等保存活用共同会議」を開催した。

- 1 日時 令和元年5月9日（木）午後1時半から3時まで
- 2 場所 倉吉市（エキパル倉吉多目的ホール）
- 3 出席者 県（総務部長、政策法務課、情報政策課、公文書館、博物館）及び市町村（広域行政管理組合はオブザーバ参加）

4 議事

（1）平成30年度事業実績報告について

ア 職員の資質向上のための研修等の実施

- ・先進自治体（太宰府市公文書館）の担当者による「文書の評価選別に関する取組や課題を学ぶ研修会」を開催するとともに、専門家による「文書の酸性劣化の知識や書類・書籍の簡便な修復の方法を習得するための資料保存・修復に関する研修会」を実施し、職員の専門知識や技能、意識の向上を図った。
- ・公文書館職員が市町村を訪問し、平成30年度に共同会議で決定した市町村用の評価選別基準例の活用や文書の保存等について意見交換や助言を行った。

イ 部会の開催（各2回）

（ア）評価選別部会

- ・文書の評価選別や保存に関する意見交換を行うとともに、市町村用の評価選別基準例を用いたグループワークによる簿冊の評価選別を体験した（琴浦町が評価選別基準を策定し、既に策定している鳥取市、倉吉市と合わせて3団体となった。）。

（イ）現用文書部会

- ・システム共同化の可能性を検討するにあたり、県の電子決裁・文書管理システムを活用した事務の実際を見学することにより、システムについて具体的なイメージを得た。

ウ 地域歴史資料所在調査、普及啓発の実施

- ・市町村や歴史研究者と協力し、所在情報の収集を行うとともに、現地調査を行って資料の所在状況、保管状況を確認し、今後の資料の保存と災害時の救出の基礎資料とした。
- ・「明治150年特別企画展」を開催し、公文書や写真等を元に明治時代の鳥取県政の歩みを紹介するとともに、記念講演会を開催し、公文書の適切な管理・保存・活用の重要性についての普及啓発を行った。

（2）令和元年度事業計画について……以下の事業を行うことに決定した。

ア 現用公文書及び歴史公文書等の適切な管理・保存活用のための取組

（ア）職員の資質向上のための研修

- ・歴史公文書等の評価選別研修会…先進自治体の取組等の紹介
- ・資料保存・修復研修会…文書の保存や劣化防止に係る座学と修復実技研修

（イ）部会による個別課題の検討（検討事項の案であり、具体的内容は各部会で決定）

- ・評価選別部会：市町村用の評価選別基準の標準例を元に文書を評価選別する具体的な方法の検討及びグループワークによる評価選別の体験
- ・現用文書部会：各市町村の文書事務における問題点等の抽出

（ウ）公文書館職員等が希望市町村を訪問して文書管理の課題について意見交換し、文書の評価選別基準の策定や実際の評価選別、保存等の助言、協力を行う。

イ 災害時等の資料の滅失・破損防止のための取組

（ア）災害時の連携・協力

- ・「災害時等の県立公文書館・図書館・博物館等と市町村との連携・協力実施計画」に基づき、災害等が発生し歴史的に重要な資料に被害が発生した場合に県市町村が相互支援を行う。

（イ）地域歴史資料所在調査及び災害アーカイブズ事業

- ・県内の民間歴史資料の所在調査を行うとともに、データ整理・目録作成を行い、その成果を市町村と共有して、災害時の資料救出や歴史資料保存等に活用する。
- ・過去の歴史資料や記録から、これまで発生した様々な災害事例を抽出・整理・分析し、データベースにまとめて、防災意識の向上と今後の地域の防災関係事業等に活用する。

ウ 普及啓発のための取組

山陰歴史館、倉吉博物館と協力し、昭和20～30年代の全県の風景や風俗などを題材にした写真と当時の公文書館所蔵公文書を県内3会場で巡回展示し、資料保存・活用の大切さについて普及啓発を図る。